

13107 美術Ⅰ a、b、c Fine Arts I		1 年次～ 通年 2 単位	
担当者	佃 彰一郎	履修可能学科	E Pc必 C W F
		関連資格	教職必・保育必(Pc)
サブタイトル	保育の美術、造形表現の基礎技法		
授業内容 ・ ねらい	<p>保育者に必要とされる美術表現の基礎を学習する。 保育者は幼児の表現活動における美術、造形の重要性を理解し、強要ではなく、自発的な表現が出来るよう環境を整え支援、指導を行えるよう、努めなければならない。そのためには、保育者自身の充実した美術造形表現の体験の積み重ねが不可欠である。 一般的な画材である、絵の具、紙、クレパス、カラーテープや、ペットボトルなどの日用品を用いた作品制作を行う。表現の豊かさ、楽しさを感じることを通じて個々の造形感覚、表現技術を高める。加えて、色彩、透視図法、絵画表現を理解することで、絵本、紙芝居、アニメーション等が子供たちに与える印象、影響を考察する。</p>		
授業計画	前期 第1回：オリエンテーション 第2回：絵画表現の発達段階 第3回：絵とピクトグラム 第4回：イメージの表現 第5回：描写とイメージ 第6回：1 2 色相環 第7回：色彩対比効果 第8回：絵の具の3 原色 第9回：色彩の明度 第10,11回：孔版の制作 第12,13,14,15回：ガラス絵の制作	後期 第16,17回：物語による絵画表現 第18回：透視図法と絵画表現 第19,20回：複数の立方体のデッサン 第21,22回：レモンの彩色描写 第23,24回：ペットボトル玩具の制作 第25,26回：折り紙の制作 第27,28回：貼り絵の制作 第29,30回：紙による立体玩具の制作	
教科書 参考書	プリントを配布します。		
評価方法	提出物、出席状況、取り組みの様子、準備、片付け、清掃の状況を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等	保育専攻必修科目ゆえPc学生を優先します、他学科の学生は履修できない場合があります。		